

消防団定期観閲式

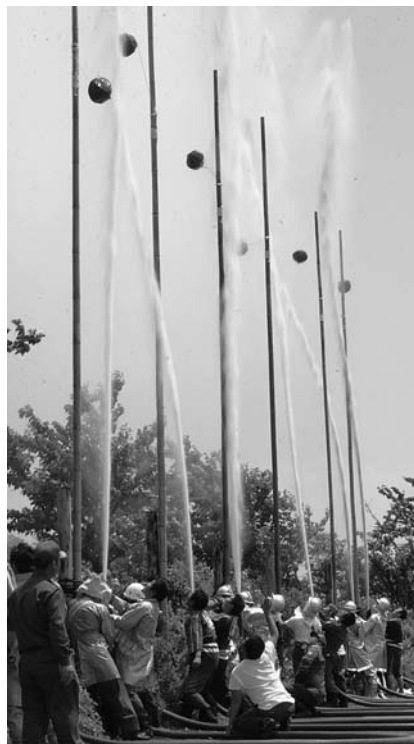
第7回つがる市消防団定期観閲式が6月19日、イオンモールつがる柏の駐車場で行われました。観閲式では、消防団員が日頃から行っている防火・防災訓練の成果を観閲者である福島市長に披露。服装、分列行進、機械器具点検等の審査が行われ、参加者は防災への決意を新たにしました。



息の合った分列行進を披露する消防団



福島市長による服装点検



白熱した玉落競技



機敏な行動で機械器具点検を受ける



連携のとれた放水をする幼年消防クラブ

現在、つがる市消防団は57分団、消防ポンプ車等85台が配備され、1400人の団員が消火栓や消防ポンプの管理、消火訓練等を行いながら、万一の災害に備えています。

観閲式では団員の視閲点検、消防車両の機械器具点検、分列行進等が行われ、45分団と航空自衛隊車力分屯基地第21高射隊が出場しての玉落競技も開催されました。また青森山田高等学校吹奏楽部の演奏や、いなほ保育園、柏第二保育園、柏第三保育園、木造北保育園の園児が踊りやカラーガードなどで観閲式を盛り上げ、かしわ保育園、銀杏ヶ丘保育園の園児らによる幼年消防クラブが、機械器具点検と放水訓練を披露し、将来の勇敢な消防士ぶりをアピールしていました。

引き続き開催された式典では、殉職消防団員へ黙祷を捧げ、表彰伝達・授与式が行われ、236人の団員が各表彰を受けました。消防庁長官表彰には、森田副団長の米谷正造さん、柏副団長の小関清隆さんが表彰され、三村知事から伝達されました。

今回の観閲式の結果は、森田大隊が日頃の訓練の成果と安定した力で総合優勝を果たしました。

【観閲式の成績】

総合優勝 森田大隊 (264点)
第2位 柏大隊 (259点)
第3位 稲垣大隊 (239点)
特別賞 航空自衛隊車力分屯基地第21高射隊

【玉落競技の成績】第1位のみ

●50馬力以下
木造第8分団第2部(小田原) 32秒39
●51馬力～85馬力まで
柏第6分団(小和巻) 12秒28
●86馬力以上
木造第5分団第2部(大畑) 18秒39



柏第二保育園園児による火消し演技



柏第三保育園園児のカラーガード隊



指揮権を表す隊旗を受け取るイングリズ大尉
(右から2人目)

「Xバンド」新分遣隊長に イングリズ大尉が就任

ミサイル防衛用早期警戒レーダー「Xバンドレーダー」を管理している米陸軍車力通信所の指揮官交代式が6月17日、航空自衛隊車力分屯基地で行われ、マシュー・イングリズ大尉(32)が就任しました。

イングリズ大尉は、車力通信所の本隊である米ハワイ州の第94米陸軍防空ミサイル防衛コマンドからの配属。また、第3代分遣隊長であったカービー・J・アトウェル大尉(29)は退官し、イリノイ大学大学院で修士号取得を目指すそうです。



カービー・J・ アトウェル大尉

私のことを温かく受け入れてくれてありがとうございました。2年間暮らしたここ、つがる市の皆様が、日々誇り高く生活し、愛する地域をより良い環境にしていけるために

頑張っている姿を見て大変感動しました。

また、地域のさまざまな行事に招待していただきありがとうございました。どの行事もとても印象深く、日本の文化や歴史を肌で感じ、学ぶことができました。いつの日か、私に家族ができたときには青森の地を訪れ、私がこの地で経験したことを伝えたいと思います。日本を離れるのはとても悲しいですが、ここでの素晴らしい思い出、日本の皆様の温かい心は絶対に忘れません。これまで本当にありがとうございました。



米陸軍車力通信所分遣隊長 マシュー・ イングリズ大尉

つがる市の皆さん、私を迎え入れてくれてありがとうございます。また、アトウェルを受け入れてくれたことにも感謝します。彼は皆さんの支

援のおかげで素晴らしい仕事ぶりを発揮できました。私はアトウェルが築いた関係を大切に、地域の祭りや行事を通してこれまで以上の友好関係を築いていけるよう頑張っていきたいと思います。私とつがる市の皆さんとの小さな交流が日米の友好関係に繋がっていったらと思います。

また、つがる市に来て、これまでのハワイの都市部とはまったく違う草原や美しい自然に圧倒されました。つがる市の自然を満喫して生活していくことを楽しみにしています。

よろしくお願いします。

東日本大震災に対する支援活動状況

■市職員の人的派遣支援

◇市職員の派遣

- ① 4月7日～4月10日(一般職員3人 岩手県宮古市)
- ② 4月14日～4月18日(保健師2人、一般職員1人 宮城県名取市)
- ③ 5月11日～5月17日(保健師4人 岩手県盛岡市)
- ④ 5月28日～5月31日(一般職員3人 岩手県宮古市)
- ⑤ 6月13日～6月17日(保健師2人、一般職員1人 宮城県亘理町)
- ⑥ 5月21日～6月20日(一般職員計10人(2人ずつ5回) 岩手県山田町)
- ⑦ 7月25日～7月28日(保健師2人、一般職員1人 宮城県亘理町)(予定)
- ⑧ 8月27日～8月30日(保健師2人、一般職員1人 宮城県亘理町)(予定)

◇緊急消防援助隊の派遣(つがる市消防署)

3月13日～3月26日(第3次隊計23人 岩手県久慈市、野田村)

■救援物資支援

◇市民の皆様から寄せられた救援物資を被災地へ送りました。

3月30日 タオル 4,729枚、バスタオル 1,231枚、ボックスティッシュ 3,797箱(岩手県内)

7月2日 ボックスティッシュ 6,180箱(福島県南相馬市)

■義援金支援(日本赤十字社青森県支部)

◇市民の皆様から窓口に寄せられた義援金 6月30日現在の総額 2,068,254円



岩手県山田町の避難所での
支援活動(5月31日)